

学 内 往 来

「上智大学社会福祉研究」第48号をお届けいたします。本号では、笠原教授、そして新たに着任した平野寛弥准教授、高瀬幸子准教授の論文を掲載いたしました。

2023年度、COVID-19は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」における類型が2類より5類に移行しました。講義形態をはじめとした大学運営はパンデミック以前に戻り、学生達の活気あふれる姿がキャンパスに戻ってまいりました。

社会福祉学科では、2023年度4月より、平野寛弥准教授、そして高瀬幸子准教授が着任いたしました。本紀要に論文をお寄せいただきました。是非ご一読ください。また、2022年度に着任された大塚晃特任教授が2024年3月に退任されました。学科への御貢献に深く感謝申し上げます。

学生については、学部においては58名が卒業、大学院は4名が修了いたしました。学部卒業生の多くは、コロナパンデミックが起きた2020年に入学した学生となります。入学当初より、講義の在り方が変則的であったり、大学での学生同士の交流が制限される等、想定していなかったことを多く経験した皆さんです。そのような中でも、自身の将来に向けて力強く歩みを進めている姿に、教員の方が勇気をいただいています。稀有な経験をしたからこそ、今後の人生が豊かなものとなるとともに、そのような豊かな社会の構築のために貢献される人となることを心から願っています。

編集代表 高山 恵理子